



高齢者および障害者の生活支援 の実践と評価

共通教育センター／健康応用科学、障害者スポーツ

本田 春彦 HONDA Haruhiko

准教授、博士（医学）



1. 研究内容

- ①【被災地域の高齢者における心身の健康増進を目的とした世代交流プログラムの実践と評価】では、運動やレクリエーションを通じた心身の健康増進プログラムが一般高齢者の身体・心理・社会的側面に及ぼす影響を明らかにすることを目的としている。
- ②【精神障害者における余暇活動の充実を目的としたスポーツプログラムの実践】では、余暇活動の充実を目的としたスポーツプログラム（主にフットサルをモデル競技とする）を実践し、その効果評価を行うことを目的としている。



2. 地域・産学連携の可能性

上記①、②の研究プロジェクトは、すでに地域・産学連携で進めている。今後は連携協力体制が継続することでより支援事業が発展していくことが望まれる。

具体的には、例えば①被災地の高齢者支援のプロジェクトでは、震災後同地区で活動してきているNPO等の活動団体と連携を図ることで復興支援がより円滑に行われるようにしたい。

また、②精神障害者の余暇支援プロジェクトでは、2020年東京パラリンピックへの選出が期待される選手らの練習を始め、障害者スポーツの普及啓発活動となるよう、参画する団体との連携を深めていきたい。



高齢者、健康増進、障害者、余暇支援